

CONTENTS

- 23 夏のボランティア体験事業
福祉有償運送事業運転者講習会
平成30年度 事業・決算の報告等
- 45 よりそい談話室・ホームヘルパー訪問記
デイサービスセンター通信
- 6 我が家のぷち自慢・投稿記事
- 7 みんなで進めよう!「はやしまほっとプラン」・寄附
- 8 ふくし活動フォトギャラリー

社協だより

はやしま福祉情報

【基本理念】 **お** たがいが支えあい **あ** んしんして **し** あわせに暮らせる **す** みよい地域をつくります

ボランティア活動のご相談は、オアシス早島へ!

社会福祉協議会では、ボランティアや地域活動に関する相談や情報提供、活動先の紹介を行っています。また、団体等の活動支援や活動体験、学習の機会を設けるなどしています。

地域活動に一步踏み出す皆さんを応援する窓口です。気兼ねなくご来館ください。

【別紙チラシをご覧ください】



思いを集めて地域の笑顔につなげよう!

共同募金運動は、皆様一人ひとりの思いが集まることで自分の町の福祉活動を支え、笑顔あふれる地域にするための運動です。

今年も10月1日から全国一斉に運動が始まります。皆様からの温かいご支援とご協力をよろしくお願いたします。

【別紙チラシをご覧ください】



昨年度の早島中学校早輝祭での街頭募金の様子

夏のボランティア体験事業

実施月日 7月10日(金)から8月25日(日)まで
 実施場所 早島町内

町内の福祉(教育)施設や団体のご協力を得て、夏期休暇を活用したボランティア体験を行う本事業。今年は早島中学校生徒や近隣の高校生、大学生合わせて218名の参加がありました。

7月6日(土)に早島中学校にて事前説明会を開催し、体験中の注意事項の伝達と受入先との日程調整を行い体験に向けての準備を行いました。その後、7月20日(土)から早島町内の受入先で様々な活動を行いました。



8月23日(金)に事後研修会を開催し、次回の参加者に伝えたいこととして「気が付いたことや学んだこと、よかったこと」と「気を付けてもらいたいこと」について振り返りを行い、下表のような発表がありました。

また、アンケートでは「違う年代の人たちと交流できる場」や「人のためであるけど、自分のためにする活動であるというイメージが変わった」という意見がありました。

気が付いたことや学んだこと、よかったこと

- 普段体験できないことを体験することができた
- 一人ひとりが全然違うことに気が付いた
- 笑いかけると安心する

気を付けてもらいたいこと

- 迷惑をかけない
- 言葉使いや態度
- 体験する前に活動場所のことを知っておく
- 時間をちゃんと守った方が良い

受入施設・団体 ご協力ありがとうございました

早島幼稚園、早島保育園、かんだ保育園、わかみや保育園、早島児童館、早島町地域活動支援センター、早島町デイサービスセンター、特別養護老人ホーム白亜館、早島町生涯学習課、岡山県立早島支援学校、手話ボランティアいぐさ、早島要約筆記サークルペンしる、パソボラはやしま、はやしま朗読ボランティア福来朗、はやしま本だいすきの会、備中はやしま夏まつり実行委員会

福祉有償運送事業運転者講習会

実施日時 7月20日(土)、21日(日)
 実施場所 オアシス早島

福祉有償運送事業の運転資格が取得できる同講習会には、県内各地から33名が参加されました。

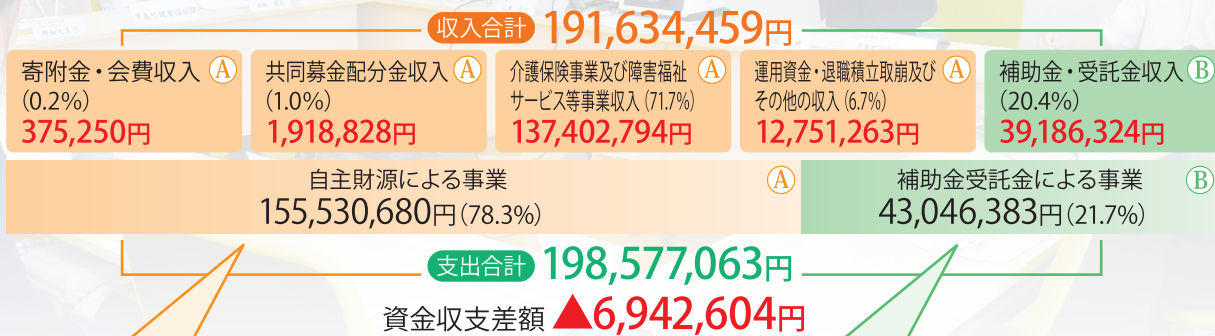
初日は、移動サービスに関する法律や制度、運転に必要な心構え、リスクへの備えと対応方法、接遇介助等を学びました。また、2日目には運転実技や福祉車両の種類や乗降介助の演習があり、受講者33名全員が修了証を受け取りました。



今回は、町内の移動支援の担い手の人材発掘を目的に、主催の『NPO法人移動ネットおかやま』の会員である本会も共催。町内にも受講者を募った結果、本会職員を除き、6名の町民の方が受講。今後、本会が運営する福祉有償運送事業や運転ボランティアくると協働のサロン等送迎活動の担い手としての活動参画をお願いしています。

平成30年度 事業・決算の報告

「はやしまほっとプラン」が4年目を迎え、生活支援活動を住民主体で推進する『暮らしの応援団』を結成しました。また、町内の社会福祉法人連携に向け、設立準備会を開催し、連携の趣旨確認をはじめ様々な協議を開始しました。その他に実施した事業を含めご報告いたします。



介護保険事業 (A)

- 居宅介護支援事業の実施 (介護計画延べ作成数 要介護2,282件、要支援484件)
- 通所介護事業の実施 (延べ利用者数7,809名)
- 訪問介護事業の実施 (延べ訪問回数6,110回)
- 介護予防・日常生活支援総合事業の実施 (通所・延べ利用者数365名、訪問・延べ訪問回数1,113回)
- 障害者総合支援事業の実施 (延べ訪問回数954回)
- 職員人件費 (常勤換算 事務局1.5名、介護保険25.5名)

地域福祉事業

- 生活支援活動の検討・実施 (暮らしの応援団活動・定期5件、不定期14件、応援カフェ12回)
- 外出支援活動の検討・実施 (検討会12回、福祉有償運行70回、サロン等送迎193回)
- 社協だよりの発行 (年4回)
- 福祉活動員活動の支援 (研修会2回、定例会8回、地域活動)
- コミュニケーション麻雀の普及推進 (定例会・延べ参加者数383名、町内6団体・延べ参加者数91名など)
- 自治会単位の地区福祉活動支援 (1地区)
- ふれあいいきいきサロン活動の推進 (23団体、延べ参加者数5,602名、連絡会2回)
- 年末大掃除おたすけサービスの実施 (利用35世帯、協力者数46名)
- 福祉映画会の開催 (観客数429名)
- 福祉ボランティア・当事者活動の支援 (7団体)
- 福祉教育・啓発の推進 (早島小車イス体験教室・体験者数127名、夏のボランティア体験・体験者数244名など)
- 福祉用具貸出サービスの実施 (124件)

法人運営事業 (B)

- 理事会 (役員会) の開催 (年5回)
- 評議員会の開催 (年4回)
- 評議員選任・解任委員会の開催 (年1回)
- 職員人件費 (常勤換算 事務局3.5名)

職員出向事業

- 地域包括支援センターへの職員出向 (1名)

地域福祉事業

- 早島町内社会福祉法人連絡協議会設立準備会の開催 (年3回)
- 地域福祉活動計画の推進 (暮らしの応援団立ち上げ、新規サロンの立ち上げ1地区)
- 高齢者給食サービス活動の推進 (8団体、延べ利用者数2,076名、衛生研修会1回)
- 福祉ボランティア・当事者活動の支援 (4団体)
- ボランティア活動に関する相談・調整 (調整件数301件)
- 地域福祉センターの運営管理 (貸出456回・延べ利用者数7,218名)
- 館具・用具の貸出 (65件)
- 生活福祉資金の貸付 (償還2件)
- 日常生活自立支援事業の実施 (相談2件、新規契約2件、継続3件)
- いきいきサポーター養成講座の開催 (受講者8名)

その他

- 倉敷市災害ボランティアセンター業務支援 (派遣日数209日、延べ派遣職員数332名)

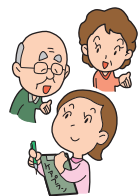
「福祉活動員」と介護支援専門員の意見交換会

実施日時 8月22日(木)
実施場所 オアシス早島

『介護支援専門員に聞いてみよう!』と題し開催された意見交換会には、福祉活動員さん38名と本会の介護支援専門員7名が参加。まず、意見交換の話題提供として、本会の介護支援専門員から介護保険制度の概要を事例を交えて説明。制度の「入り口」と「限界」をお伝えした上で、9グループに分かれ、改めて介護支援専門員の業務や福祉活動員さんの活動範囲を確認し合いました。

福祉活動員さんと本会の介護支援専門員は、毎年2回交流しており、日常活動における連携に向け、顔馴染みの関係を深めています。





ケアマネジャーの

よりぞい談話室



私たちケアマネジャーは、在宅で介護認定を受けて生活をしている方が住み慣れた地域で生活していくためのお手伝いをしています。

介護予防のキーワードの一つ「社会参加」。今年度は、地域活動に「担い手」として活躍されている方にスポットをあて、記事にします。

第29回

「その経験、活かしてみませんか？」

ボランティアを始めるきっかけとして、これまでに身につけた資格や経験を活かした活動から始めてみませんか？

今回は、前潟・下前潟地区の給食ボランティア『たんぼぼ』にお邪魔して、実際に経験を活かして地域で活躍されている岡本さんに、活動に参加するきっかけや続ける楽しみ等インタビューをさせていただきました。



給食ボランティア「たんぼぼ」のご様子



さつき荘にて
毎月第4木曜日に開催

ケアマネジャーのひと言アドバイス



岡本美代子さん

早鳥保育園の給食調理員として勤務。退職時に『たんぼぼ』から声がかかり、続けることなんと15年!!

ケアマネ ボランティアを始めて良かったことはなんですか？

岡本さん 「今日は大儀だな・・・」と思っても、給食ボランティアの日には身体が自然と動いてピリッとします。「ありがとう」と言ってもらえることがとても嬉しく、やりがいになります。また、自分自身も元気でいられます。実は来年で80歳なんですよ。

ケアマネ えーっ。見えないです！

岡本さん 姿勢が良いと言われます。自転車にも乗るんですよ（笑）

ケアマネ やりがいを持って活動に参加されているのが、若さの秘訣なんですね。これからも頑張ってください！

年齢を重ねても輝ける場があることは素敵なことですね。「何かをしたい」ではなく、自分の経験を活かした分野から「何ができるか」自分に合ったボランティアを考えてみませんか？



●介護やサービスに関するご相談は、早鳥町居宅介護支援センター（☎086-482-3516）まで

夏祭り ～楽しい納涼の祭典～

7月に夏祭りをしました。昔懐かしいゲームをしたり、うらじゃ踊りや怪談など職員の出し物を見てもらいました。「金魚がぎょうさん、すくえたで～」 「本物のお化けかと思って怖かったわあ」と出し物も好評! たこ焼きや焼きそば、スイカを食べてお腹も満ち、最後は皆で炭坑節を踊って盛り上がりました! また今回もボランティアさんの協力でたくさんの種類の食べ物を出すことができ、楽しい時間を過ごせました。



そりゃ!



おいしい!



怖いわあ～

デイサービスで
人気の活動
「カレンダー作り」

赤とんぼにコスモス
秋を感じるわ!





ホームヘルパー訪問記

このコーナーでは、私たち早島町ホームヘルパーステーションが、訪問しているご利用者の方とのやりとりや生活から、ホームヘルパーの気づきをお伝えしていきます。

2019-8-15 | 平和を願いつつ日々感謝です

今回は今まで何度か出ていただいた御年98歳の尾上ちとせ様に元気で過ごせる秘訣をお聞きしました。健康に一人暮らしを続けるために心がけていることは「バランスを考えた食事と適度な運動と早目の受診。」だそうです。また、人との交流をととても大切にされ「みなさんに支えられています」と謙虚な尾上さん。「最近はやることがはかどらず、ゆっくり本や新聞も読めない」と嘆かれていました。これからも安心して過ごせるよう私達も支えになりたいと思います。



(御年98歳の尾上さん)

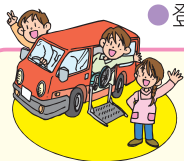
尾上さんは岡山県で保健婦の養成学校の第一期生で卒業後保健師として定年まで県庁に勤められました。戦争中は救護班で広島(宇品)に行かれた経験もありません。戦争の悲劇を目の当たりにされたちとせさんの「平和が続くことを心から願っている」といった言葉は心に深く響きました。



(56歳の頃 県庁勤め最後の日)

ヘルパー研修録 「～ストレスと少しでもうまく付き合うには?～」

川崎医科大学精神科の石原先生をお招きした職員研修に参加しました。ストレスは誰にでも起きることで具体的な解決方法が簡単にはみつからない様ですが、口に出してみたり紙に書いて客観的にみること、目標を決めてかなえば自分にご褒美を与えること、また笑顔になることなど、身近な解消法を教えてくださいました。



●登録ヘルパーに関するお問合せは、早島町ホームヘルパーステーション (☎086-482-3518) まで

デイサービスセンター 通信

祝白寿 おめでとうございます!

今年になってお二人の方が 99 歳を迎えられました。記念品の贈呈や、昔なじみの方やデイサービスでできた友人、ご家族など、多くの方から白寿を祝う言葉をもらい、盛大な会になりました。来年で百歳を迎えられるお二人が、これからも充実した生活を送っていただけるように職員一同サポートしていきます!



渡邊 コイノ様(長津)
5月28日生まれ

みなさんのおかげで、ここまで長く生きてこられました。あと1年頑張って、100歳を迎えたいと思います。



溝手 トシエ様(頓行)
7月12日生まれ

こんなに長生きするとは思わなかったです。家族の者に感謝です。120歳を目指して頑張ります。

祝100歳



投稿者
坂井 淳子さん(若宮)
写 真
坂井 清さん(若宮)

取材をうけました

投稿者
平松 紀志子さん(若宮)
写 真
右から
平松 鈴那ちゃん(若宮)
平松 暖士くん(若宮)

我が家の宝物



やさしいお姉ちゃん

夏の思い出!

プール最高~♪



投稿者
渡邊 亜弥さん(長津)
写 真
右から
田村 心麗さん(若宮)
渡邊 桃菜さん(長津)

倉敷市・水島港祭りソフトテニス大会3位



猛暑に負けず頑張ったよ!

投稿者
西田 一步さん(塩地)
写 真
早島ジュニア・ソフトテニスクラブの選手達

ぷち自慢 写真大募集!!

皆さんからのほほえましい写真をお待ちしています!!

- ご家族(夫婦・親子・かわいい孫やひ孫さん...)との写真
- 大切な仲間との写真
- 自慢のペットとの写真
- 何かで受賞した時(賞状やメダル、トロフィー...)の写真
- 力作品(丹精を込めたお庭や植木・花・野菜...)と一緒にの写真
- 手工芸や絵などの創作品と一緒にの写真など・

親睦会で夏祭りに出店しました~



〈お問合せ・お申込み先〉
早島町社会福祉協議会 ☎482-3000
E-mail: fukushi@hayashima-shakyo.jp

おたより



私の福祉活動への参加の原点は、「地域の組合活動」です。6年ほど前に定年退職し、地域の組合長の役が回ってきました。組合長をして特に感じたのが、「人と人との繋がりが少ない」「地域の高齢化が大変進んでいる」ということです。組合は、住民にとって一番身近な組織であり、自治会等の地域活動の原点となる重要な組織です。「各組合活動が活発になれば、自治会活動も自然と元気になるのでは」と考え活動を計画していきました。

まず、「地域の助け合い」を進めるためには、何でも話ができる「対話」の場づくりが必要と考え、10月に「意見交換会」、12月に「忘年会」、3月に「10組総会」を組合で開催しました。これには今でも大勢の参加が続いています。また、集会の場づくりとしてお年寄りが楽しく参加できる健康体操を毎月1回実施しました。これが大変な人気で、今では片田自治会の集会の場として、ボケ防止と健康を目的に、大勢の皆さんが笑顔で体を動かしています。

現在私は、社会福祉協議会のくるりん送迎活動や暮らしの応援団(ゴミ出し他)への参加、児童館ファミリースポーツセンターのおまかせ会員として、共働き世帯の幼児・児童の預かりや送迎、小学生の下校時の見守り、NPO法人早島ふれあいネットへの参加、地域包括支援センターの元氣アップ塾等のお手伝いをしています。

困っている人のため、これからも「ありがとう」の一言と笑顔を励みに、ボランティア活動を頑張っていこうと思います。

片田自治会

益森 英明



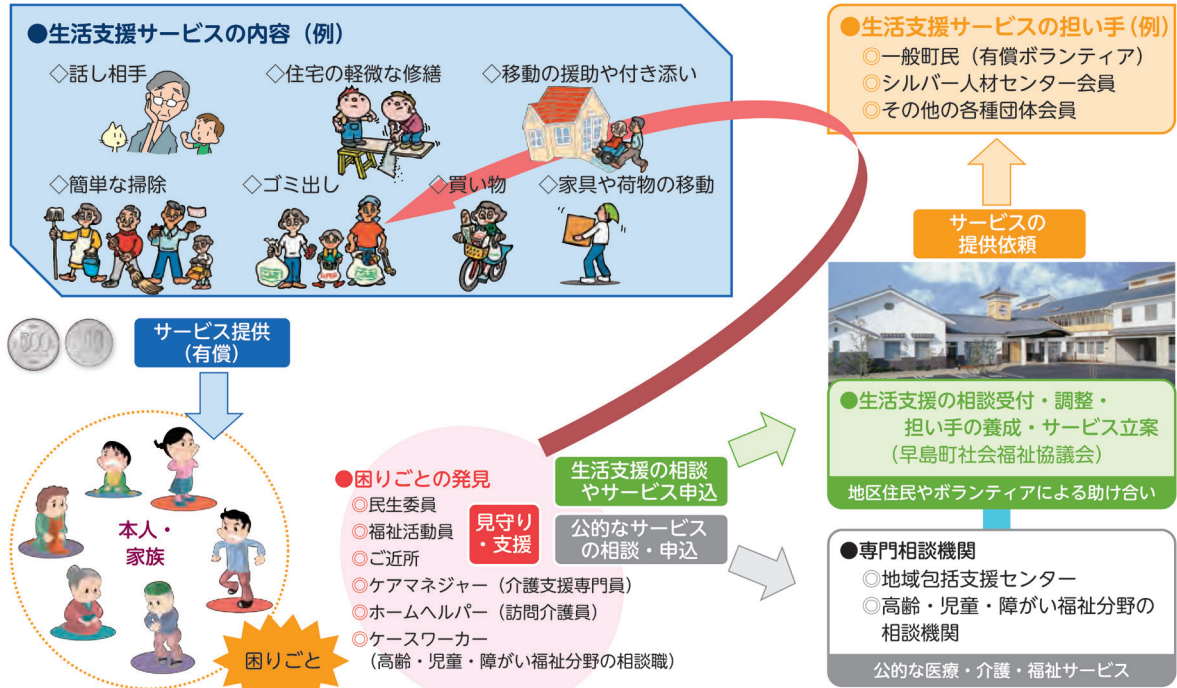
みんなで進めよう!

はやしまほっとプラン



平成27年度から5カ年の民間福祉活動計画の羅針盤『はやしまほっとプラン』。計画推進最終年度を迎えた今年度は、いよいよ評価作業に着手します。各種取組状況の振り返りが必要となる中、今号は、住民主体による見守りから支え合い活動への進展状況をお伝えします。

“ほっとプラン”が目指した新たな住民主体の『支え合いのカタチ』



困りごとの発見-見守り活動と専門職との連携-

「困りごとの発見」の段階で大切なことが、近隣住民による気づきです。その気づきを専門機関へつなぐ段階で、従来から重要な役割を果たしているのが民生委員等の行政委員や本会が委嘱する福祉活動員です。

平成26年度からは介護支援専門員等の専門職と協働支援できるよう、連携強化を目的とした意見交換会(3頁参照)や交流の場を設置。昨年度からは、地域の気になる方の情報を共有する地域包括支援センターとの「地区連絡会」もスタートしました。



新たな「住民の支え手」の誕生

高齢者等の困りごとには、制度や専門職が関われないゴミ出しや買い物、家屋内外の整理作業や移動の付添いなど、加齢に伴う心身上の問題から自力で解決できない切実な生活課題があります。

そんな制度の隙間への対応は長年の課題でしたが、新たな「住民の支え手」として昨年度誕生したのがわが町の『暮らしの応援団』活動です。また、シルバー人材センターも主に高齢者向けの福祉・家事援助サービス事業を開始しました。



ご厚志ありがとうございました

(令和元年6月1日から8月31日までにお寄せいただいたご寄附)

香典返し寄附

舟本	小橋健太郎様(故小橋節子様)
市場	高橋章雄様(故高橋恒夫様)
真磯台	高木百合子様(故高木章久様)

一般寄附

しょう子(時澤昭子)様(岡山市)

平成30年度『暮らしの応援団』活動実績

支援内容	実件数	延べ件数	活動者数	内容詳細
ゴミ出し	5件	156件	2件	可燃物
電球取替え	3件	3件	4件	電灯、照明器具
付添い支援	2件	4件	2件	買い物、病院
家屋内整理	4件	5件	10件	可燃、不燃物等
家屋等修繕	5件	6件	7件	屋根、壁、車庫等
合計	19件	172件	25件	

上記実績の依頼は、高齢者や障がい者世帯の方に限らず、若年層の生活困窮者の方からもあります。

年代を問わず、制度の狭間の課題への対応として、「ほっとプラン」で示された住民主体の『支え合いのカタチ』が少しずつですが、確実に進展しています。

ふくしま活動フォトギャラリー



出前車いす教室

県立早島支援学校との交流会の導入として早島小学校4年生154名を対象に開催。本会職員から操作方法や注意事項を伝え車いす操作を体験し、相手の立場に立った接し方や安全に配慮した操作を学びました。今後の生活の中で役立ててもらいたいと思います。(R1.6.10/早島小学校体育館)



福祉活動員協議会定例会

福祉活動員の7月定例会には49名が参加。早島町地域包括支援センターと協働で『認知症サポーター養成講座』を開催しました。『認知症のひとと家族の会岡山県支部』副会長の阿部先生をお招きし、受講後には認知症サポーターの証である『オレンジリング』が配布されました。(R1.7.25/オアシス早島)



第4回社会福祉法人連絡協議会準備会

町内の各社会福祉法人が連携協働し、地域での公益的取組を推進するための協議会設立に向けた準備会を開催。今回は『わかみや保育園』を会場に同園の取組内容の紹介や施設見学を実施。また、町健康福祉課や県民局から町内の状況や課題についての説明を受けました。(R1.7.30/わかみや保育園)



暮らしの応援団活動

「庭の草枯らしを自分でしたが、奥のほうができないので頼めないか」と本会へ相談があり、除草剤散布をお手伝いしました。雨の日は薬剤が流れてしまい、周囲の草木や隣家まで影響が出てしまうため、扱いは慎重にしなければいけない等、団員で新たな知識を共有することができました。(R1.7.31/町内)



第50回外出支援活動検討会

この検討会は、町内の移動の問題を話し合う場として、外出支援活動に関心がある住民の方を中心に、平成27年2月から毎月1回開催。今回は、7月に実施した福祉有償運転者講習受講者5名の方も参加。改めて検討会の趣旨確認と現在行われている活動内容の共有を行いました。(R1.8.20/オアシス早島)



給食ボランティア連絡協議会

町内8箇所までひとり暮らしの高齢者や障がい者の方等の会食の場を提供する給食ボランティア団体から19名が参加。備中県民局保健所から講師をお招きし、食中毒やその予防法、チェッカーを用いた効果的な手洗いの方法を学び、食品衛生への理解を深めました。(R1.8.27/オアシス早島)